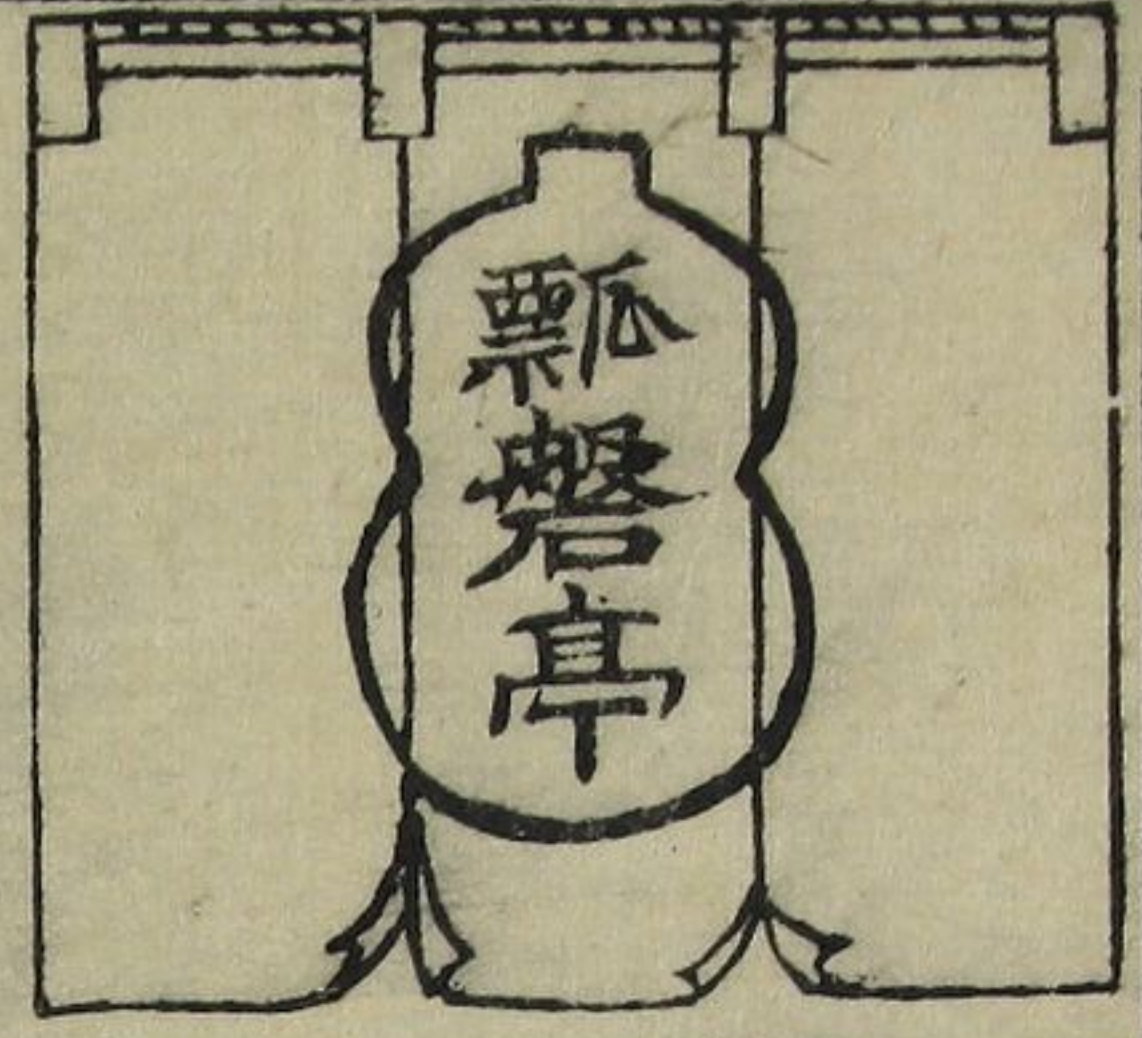


○打身即席此字等治 生知信也
 外家医前形



一 御町中様茶室樂々 此新創の也とせられ御天
 地獄なるおぼえなごころく私共此道中江中
 鮎大系破焼自前右道に社併せりて焼決より
 家務身代近中りてけ初揺向に御付以及之愛附こ
 古今の御ごころを撰ひ形又今撰ひ此鮎の味市
 中なる也 此茶どうせり汁打身即席此中りて取合
 風儀等々世直一仕とて中り民の富の所焼く
 所威光等々一俵くを形とゆ水と

□ 市北より免き返 五合宛

□ 此茶どうせり汁 瓶際入

即十月二日 神座森島町
 如堂同屋石蔵

80
75
70
65